

14. 水郷県民の森

茨城県水郷県民の森は、平成17年（2005年）6月5日に行われた第56回全国植樹祭を開催したあと、2006年4月に一般に開園しました。総面積51.5haにおよび、コナラやクヌギの雑木林のほかシイやカシなどの照葉樹が見られる貴重な平地林となっています。令和5年（2023年）11月11日には全国育樹祭が行われ、秋篠宮殿下御夫妻が、平成17年に平成天皇、皇后両陛下がお手植えされた樹木の枝打ち、追肥等のお手入れをされました。

（1）ビジターセンター

総合案内施設（ビジターセンター）にはパネルで自然や森林の大切な役目を伝える展示室や、研修室があります。又、年中行事として夏場の昆虫観察や植物観察、山野草展示会、野鳥観察会、季節に応じた各種のイベントがあります。



←ビジター
センター



展示室→

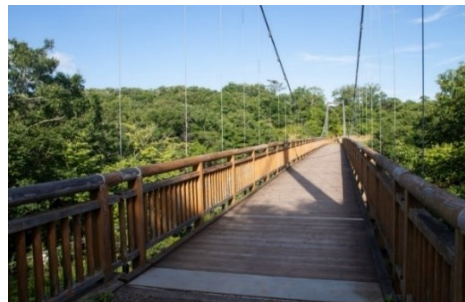
（2）大膳池、吊橋

11月下旬から3月上旬まで白鳥をはじめ、カルガモ、大鵜等、毎年多くの水鳥や渡り鳥が飛来し、冬の風物詩となっています。

大膳池にかかる長さ85mの吊橋は、大膳池を見下ろす景観がとても良いと好評です。



←大膳池



吊橋→

（3）野外活動広場

茨城県としては二度目の全国植樹祭が開催され、記念植樹された場所です。

平成天皇陛下がケヤキ、スタジイ、タブを皇后陛下がヤマザクラ、紅梅、ヤマボウシをお手植えになりました。その時の情景を詠まれた天皇御製の『残りゐる 平地の林 守らむと 潮来に集い 苗木植ふたり』の歌碑もあります。一面芝の広大な広場には家族連れや子供達の憩いの場でもあります。



野外活動広場

(4) 活動体験施設

施設内には、大膳池や大生古墳群を有しており、これらの特徴を活かした四季折々の自然観察会や、森林管理などの体験学習ができます。又、土曜日を主体に草刈り、樹木剪定、吊り橋補修（防錆、塗装）等を実施するボランティア活動等の活動・交流の拠点や、利用者の休憩所としても活用されています。



活動体験施設

(5) 大生古墳群

水郷県民の森北東部に位置する、面積8.8haの古墳群で古墳時代中期の築造とされ、前方後円墳・円墳・方墳など110余基の古墳からなり、茨城県では最大規模です。

大生古墳群はオフ一族の奥津城（墓）といわれ、大生神社を中心として大生西部古墳群、大生東部古墳群、カメ森古墳群、田ノ森古墳群に大別されます。

このうち大生神社西側に位置する大生西部古墳群は代表的なもので、子子舞（マゴマイ）塚古墳をはじめ、鹿見塚古墳など20数基からなっています。

子子舞塚古墳命名の謂れは熟年男子の頭骨が埋葬後、長期に亘って崩壊しているのに、隣接している小児の人骨の保存状態が良いことから、孫子にあたると想定されたことによると記されています。子子舞塚古墳は全長71.5mで発掘調査がされており、埴輪や多くの副葬品が発見され、7世紀頃のものとは推定されています。

鹿見（シカミ）塚古墳は大生神社大例祭時、鹿島神宮からの物忌の一団が鹿を連れて訪れるため、この古墳の上から鹿が来るのを見張っていたとのことから鹿見塚古墳の名が付いたとの言い伝えです。



子子舞塚古墳



鹿見塚古墳